



第85期 報告書

2019年1月1日～2019年12月31日

 鳥越製粉株式会社

証券コード：2009

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第85期（2019年1月1日から2019年12月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、ここに営業の概況についてご報告申し上げます。

2020年3月27日

代表取締役会長兼社長 鳥越 徹



営業の概況

当期のわが国経済は、各種経済政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦問題の動向や中国経済の減速などにより、先行きは不透明な状況にあります。

食品業界におきましては、健康志向にマッチした商品のニーズが増加する一方で、依然として低価格志向が根強く、消費者のニーズが多様化しています。また、人手不足に伴い人件費や物流費等の諸経費が上昇し、消費税率引き上げや自然災害

の影響もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中にあって当社は、中期経営計画「TTC150 Stage1」に基づき、将来の持続的成長に向けた諸施策に取り組みました。販売体制の強化を図るため、2019年1月に穀物事業を推進する組織「グレイン・プログレスチーム」を、12月に戦略商品（イノベイト（品質改良剤・日持向上剤）および食品素材）の新たな販路開拓の専任組織「マテリアル戦略室」を、それぞれ新設しま

した。また、「モバックショウ」や「“日本の食品”輸出EXPO」等の各種展示会に出展するなど、積極的な販売促進活動を展開しました。

販売面につきましては、小麦粉の出荷数量が減少したことなどにより、売上高は200億6千6百万円と前年同期に比べ2億5千4百万円（1.3%）の減収となりました。

収益面につきましては、売上高の減少に加え物流費等が増加した結果、経常利益は13億9千1百万円と前年同期に比べ6千1百万円（4.2%）の減益、当期純利益は「受取保険金」および「災害による損失」をそれぞれ特別利益および特別損失に計上した結果、9億9千8百万円と前年同期に比べ1億4千8百万円（13.0%）の減益となりました。

「環太平洋経済連携協定」（TPP11）、「日・EU経済連携協定」（EPA）の発効に続いて、本年1月には「日米貿易協定」が発効しました。現在も更なる経済連携協定交渉が継続中であり、当社の主要原料である小麦・大麦等輸入穀物からその二次加工輸入食品まで、関税の撤廃や順次引き下げが行われ、企業間競争が激しさを増すものと予想されます。

本年は中期経営計画「TTC150 Stage1」の最終年度であり、諸施策を確実に実施してまいります。製粉、ミックスを中心とした既存事業の基盤強化を図るとともに、穀物および戦略商品の更なる市場開拓に注力し、時代の変化に対応した新しい価値を創出いたします。

当社といたしましては、顧客本位の事業活動を通じて社会に貢献し、「世の中になくなくてはならない企業」として持続的成長と企業価値の更なる向上を目指し、地域社会、日本、そして世界の人々の生活文化の向上に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

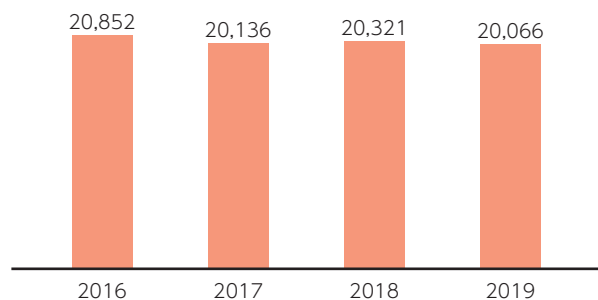
業績ハイライト (単体)

売上高

20,066百万円
前期比1.3%減



(単位：百万円)

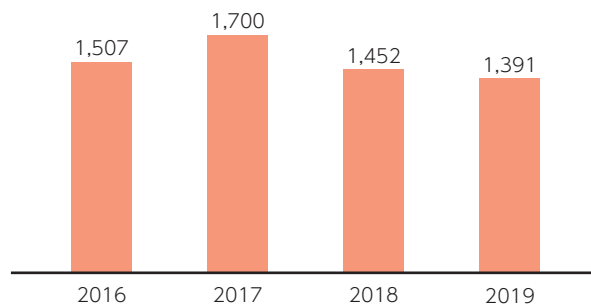


経常利益

1,391百万円
前期比4.2%減



(単位：百万円)

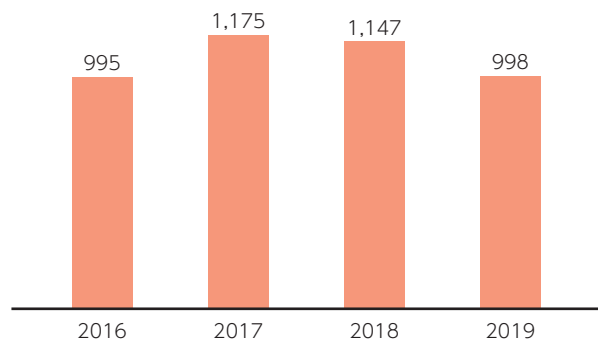


当期純利益

998百万円
前期比13.0%減



(単位：百万円)

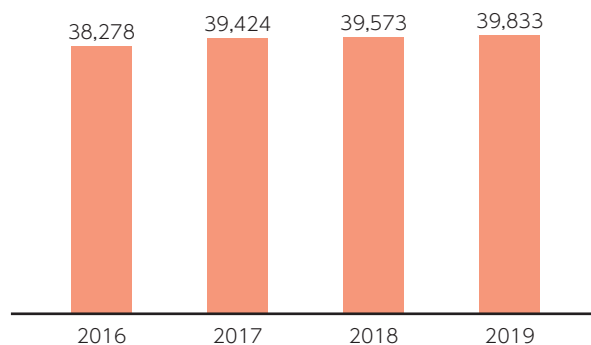


総資産

39,833百万円
前期比0.7%増

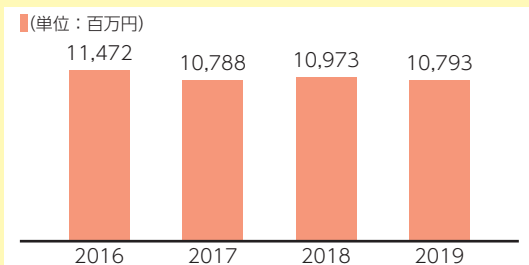


(単位：百万円)



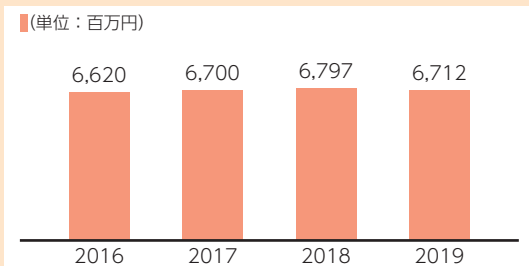
各部門の概況

製粉部門



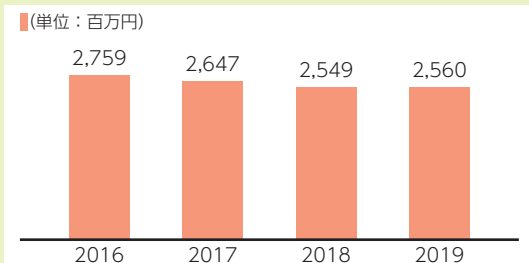
輸入小麦の政府売渡価格引き上げに伴い製品価格の値上げを実施しましたが、販売競争激化により小麦粉の出荷数量が減少した結果、売上高は107億9千3百万円と前年同期に比べ1億8千万円（1.6%）の減収となりました。

ミックス類等加工食品部門



低糖質食品シリーズ「パンdeスマート」の売上は順調に上伸びましたが、既存商品の出荷数量が減少し、売上高は67億1千2百万円と前年同期に比べ8千5百万円（1.3%）の減収となりました。

精麦飼料部門



主要販売先である焼酎業界向け精麦製品は、原料価格上昇に伴い製品価格の値上げを実施しましたが、需要低迷の影響で販売数量が減少し、減収となりました。一方、もち性大麦をはじめとする穀物の新たな需要拡大を推進した結果、精麦飼料部門全体では売上高は25億6千万円と前年同期に比べ1千1百万円（0.4%）の増収となりました。

トピックス

中期経営計画『TTC150 Stage1』

本計画は、創業150周年を迎える2027年を見据え、2018年から2020年までの3カ年の中期経営計画として策定したものです。

『TTC150 Stage1』は、Team Torigoe Challenge の頭文字と、2027年の創業150周年の数字を組み合わせたもので、創業150周年に向け、当社グループが一丸となって挑戦し、持続的に成長するための足場固めの期間と位置付け、取り組みを行っております。

基本方針

1. 時代の変化に対応した新しい価値の創出
2. 顧客本位の事業活動
3. 社員一人ひとりが成長できる環境の整備
4. 事業活動を通じた社会への貢献

グレイン・プログレスチームの新設

近年、健康志向の高まりからブランや全粒粉、大麦等、穀物の有する機能性が高く評価されております。

当社は、穀物事業を推進する組織として2019年1月に「グレイン・プログレスチーム」を新設し、穀物の新たな需要の拡大を図り、穀物を中心とした食品を更に発展させ、健康な社会づくりに貢献していく事業を推進しております。

2019モバックショウ（第26回国際製パン製菓関連産業展）に出展

当社は、2019年2月に幕張メッセで開催された製パン製菓業界の総合専門展「2019モバックショウ」に出展し、高機能性食物繊維「シトリファイ」や品質改良剤・日持向上剤「イノベイトシリーズ」などの製品を展示紹介いたしました。

会場には4日間で国内外より3万6千人以上の方が来場されました。



この1年の各地のイベント

ドイツフェスティバル

2019年11月に東京都立青山公園で開催された「ドイツフェスティバル」では、当社が事務局を務める「ドイツパン研究会」のブースに会員各社が出店し、ドイツパンやドイツのお菓子の販売を行いました。4日間で2万7千人を超える来場者となり、老若男女問わず多くの方にご来店いただきました。



“日本の食品”輸出EXPO

2019年11月に千葉県幕張メッセで開催された「日本の食品”輸出EXPO」に出展しました。

3日間で世界80か国から1万7千人以上の食品バイヤー・食品輸出商が来場され、当社では小麦粉、プレミックス、大麦加工品の他、ハラール対応小麦粉、低糖質ミックス等の商品を展示紹介しました。



うきは麺祭り

うきは祭り

当社創業の地である福岡県うきは市では、2019年5月の「うきは麺祭り」に協賛し、社員がそうめん流しのお手伝いを行いました。

また11月に行われた「うきは祭り」では、パン作り体験を開催し、多くの親子連れに参加いただきました。



パン祖のパン祭り

2019年1月に静岡県伊豆の国市で行われた「第13回パン祖のパン祭り」に協賛しました。

祭りのメインイベントである「全国高校生パンコンテスト」では、北海道から沖縄まで521件の応募作品があり、優秀者には「鳥越製粉賞」の授与も行われました。



個別財務情報

貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

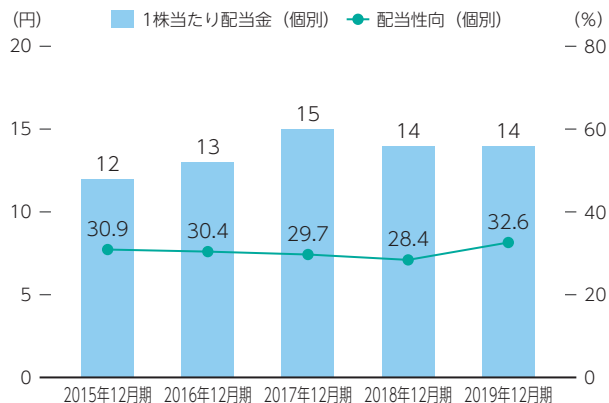
科 目	当 期 2019年12月31日現在	前 期 2018年12月31日現在
資産の部		
流動資産	19,356	19,332
固定資産	20,476	20,241
有形固定資産	8,283	8,470
無形固定資産	105	150
投資その他の資産	12,087	11,621
資産合計	39,833	39,573
負債の部		
流動負債	3,504	3,736
固定負債	3,927	4,342
負債合計	7,431	8,079
純資産の部		
株主資本	26,790	26,117
資本金	2,805	2,805
資本剰余金	2,782	2,782
利益剰余金	23,328	22,655
自己株式	△ 2,124	△ 2,124
評価・換算差額等	5,610	5,376
純資産合計	32,401	31,494
負債純資産合計	39,833	39,573

損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 2019年1月1日から 2019年12月31日まで	前 期 2018年1月1日から 2018年12月31日まで
売上高	20,066	20,321
売上原価	15,700	15,866
売上総利益	4,366	4,454
販売費及び一般管理費	3,196	3,208
営業利益	1,169	1,246
営業外収益	246	227
営業外費用	23	21
経常利益	1,391	1,452
特別利益	145	225
特別損失	97	27
税引前当期純利益	1,439	1,649
法人税等合計	440	502
当期純利益	998	1,147

● 配当の推移・配当性向 (個別ベース)



(注) 2017年12月期の1株当たり配当金は創業140周年記念配当1円を含んでおります。

連結財務情報

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 2019年12月31日現在	前 期 2018年12月31日現在
資産の部		
流動資産	20,749	20,771
固定資産	19,818	19,587
有形固定資産	9,725	9,877
無形固定資産	171	223
投資その他の資産	9,921	9,486
資産合計	40,568	40,359
負債の部		
流動負債	3,713	3,974
固定負債	4,276	4,721
負債合計	7,989	8,695
純資産の部		
株主資本	26,935	26,254
資本金	2,805	2,805
資本剰余金	2,811	2,811
利益剰余金	23,444	22,762
自己株式	△ 2,124	△ 2,124
その他の包括利益累計額	5,610	5,376
非支配株主持分	32	32
純資産合計	32,578	31,663
負債純資産合計	40,568	40,359

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 2019年1月1日から 2019年12月31日まで	前 期 2018年1月1日から 2018年12月31日まで
売上高	22,321	22,628
売上原価	17,563	17,773
売上総利益	4,758	4,855
販売費及び一般管理費	3,559	3,568
営業利益	1,198	1,287
営業外収益	251	225
営業外費用	26	25
経常利益	1,423	1,487
特別利益	147	211
特別損失	98	45
税金等調整前当期純利益	1,471	1,653
法人税等合計	464	532
非支配株主に帰属する 当期純利益 (△は損失)	△ 0	△ 1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,007	1,122

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

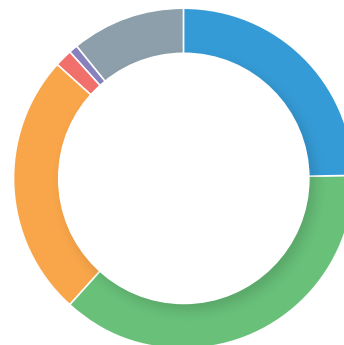
(単位：百万円)

科 目	当 期 2019年1月1日から 2019年12月31日まで	前 期 2018年1月1日から 2018年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,114	1,485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 500	433
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 911	430
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 296	2,348
現金及び現金同等物の期首残高	12,370	10,021
現金及び現金同等物の期末残高	12,074	12,370

株式の状況 (2019年12月31日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	26,036,374株
株主数	11,229名

株式の所有者別分布



個人・その他	24.8%
金融機関	37.1%
その他国内法人	25.0%
外国人	1.6%
証券会社	1.0%
自己名義株式	10.6%

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)
有限会社鳥越商店	1,420
三菱商事株式会社	1,300
三井物産株式会社	1,300
株式会社福岡銀行	1,162
株式会社三菱UFJ銀行	1,145
株式会社広島銀行	730
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	682
株式会社佐賀銀行	630
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	567
三井住友信託銀行株式会社	550

(注) 上記のほか当社所有の自己株式2,762千株があります。



株主優待のご案内

優待内容

当社的小麦粉を使用した特製「そうめん」 1箱

対象となる株主様

毎年12月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載された500株 (5単元) 以上の株式を保有していただいている株主様を対象といたします。

贈呈の時期

毎年4月中に発送の予定です。

会社の概要

会社の概要 (2019年12月31日現在)

創業年月日 1877年10月15日
設立年月日 1935年12月24日
資本金 2,805,266千円
営業品目 製粉部門
小麦粉(パン用・めん用・菓子用)、
ライ麦粉、ふすま
ミックス類等加工食品部門
業務用ならびに家庭用ブレミックス、
製パン・製菓用原材料、品質改良剤、
日持向上剤、冷凍食品、ドライイースト、
食塩、米粉、雑穀加工品、大麦粉
精麦飼料部門
押麦、焼酎用等の原料麦、麦ぬか、圧ぺん麦、
加熱圧ぺんとうもろこし2種混合飼料、
配合飼料

従業員 259名
技術提携等 アメリカのドーン・フーズ社のグループ会社と技術提携、
ドイツのCSM社(ウルマ・シュパッツ)および
そのグループ会社と業務および技術提携、
豊通食料株式会社と継続的売買契約、
アメリカのファイバースター社と業務提携

取締役および監査役 (2020年3月27日現在)

代表取締役会長兼社長	鳥	越	徹
取締役副会長	高	峰	和宏
取締役常務執行役員	中	川	龍二三
取締役	田	中	優次
取締役	倉	富	純男
常任監査役(常勤)	池	長	大五郎
監査役(常勤)	小	田	博之
監査役	秀	島	正博
監査役	岡	崎	信介

(注) 1. 取締役 田中優次および同 倉富純男の2名は、社外取締役であります。
2. 監査役 秀島正博および同 岡崎信介の2名は、社外監査役であります。
3. 取締役 田中優次および同 倉富純男ならびに監査役 秀島正博および同 岡崎信介を東京証券取引所および福岡証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両証券取引所に届け出ております。

事業所一覧 (2020年3月27日現在)

本店 福岡県うきは市吉井町276番地の1
本社 福岡市博多区比恵町5番1号
東京事務所 東京都墨田区亀沢4丁目17番12号
仙台営業所 仙台市宮城野区東仙台2丁目9番13号
東京営業所 東京都墨田区亀沢4丁目17番12号
名古屋営業所 名古屋市名東区一社2丁目10番地
大阪営業所 大阪府泉佐野市住吉町27番地の1
広島営業所 広島県安芸郡坂町植田1丁目5番1号
福岡営業所 福岡市博多区比恵町5番1号
グレイ・カウステーム 東京都墨田区亀沢4丁目17番12号
マテリアル戦略室 東京都墨田区亀沢4丁目17番12号
精麦カンパニー [製造工場を含む]
福岡県うきは市吉井町276番地の1
吉井工場 (ライ麦製粉工場、ミックス工場)
福岡県うきは市吉井町276番地の1
福岡工場 (製粉工場)
福岡市東区箱崎ふ頭6丁目8番8号
広島工場 (製粉工場)
広島県安芸郡坂町植田1丁目5番1号
大阪工場 (ミックス工場)
大阪府泉佐野市住吉町27番地の1
静岡工場 (製粉(小麦粉・ライ麦粉)、加工食品工場)
静岡県焼津市飯淵1431番地の1
東京工場 (ミックス工場)
千葉県船橋市高瀬町21番8号

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	毎年12月31日
定時株主総会・期末配当	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告掲載のホームページアドレス	http://www.the-torigoe.co.jp/

お知らせ

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。